

大桑飛龍高伊勢ヶ浜部屋へ 高校横綱

飛龍高3年の大桑元揮(18)は藤枝市立高洲中出の1の大相撲伊勢ヶ浜部屋入門が決まり、14日、入門報告会が沼津市内で開かれた。大桑は「体をつくり、関取を目指したい」と決意を語った。

7月の全国高校総体で県勢として21年ぶりに憧れ、小学1年から



伊勢ヶ浜親方(左)らと握手を交わす大桑(中央)＝沼津市内

の個人優勝を果たし、高校横綱となった。1日の全日本選手権でもベスト32の好成績を収めた大桑は「高校横綱の名をプレッシャーではなく、自信にして頑張りたい」と前を見据えた。

焼津市の「やいづ相撲クラブ」に通った。中学校卒業時に入門する力士も多い中、実力が足りないと考え飛龍高に進んだ。伊勢ヶ浜部屋からはどこよりも早く誘いをかけられ、その熱意と体験入門で感じた雰囲気の高さに引かれて部屋入りを決めた。

報告会に同席した伊勢ヶ浜親方(元横綱旭富士)は「前に攻めるところが成長している。押し相撲を伸ばし、横綱を目指してほしい」と期待を込めた。

大桑は身長170センチ、体重130キ。1月場所の新弟子検査を受ける予定。